

船舶事故等調査報告書

平成23年3月31日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第158号	
事故等種類	衝突（消波ブロック）	
発生日時	平成22年8月14日（土） 09時45分ごろ	
発生場所	千葉県富津市大貫漁港沖 大貫港南防波堤灯台から真方位043° 600m付近 （概位 北緯35° 17.0′ 東経139° 51.1′）	
事故等調査の経過	平成22年8月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 水上オートバイ ^{こうよう}光要丸、0.1トン 232-40081千葉、個人所有</p> <p>B ゴムボート（船名なし）、総トン数なし なし、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	A 船長、特殊小型船舶操縦士	
死傷者等	A なし B 負傷 3人（乗船者）	
損傷	A なし B 擦過傷	
事故等の経過	<p>A船は、大貫漁港沖において、船長が1人で乗船し、3人乗りのB船をえい航しながら遊走中、富津市大貫海岸沖に設置されていた離岸堤（以下「本件消波ブロック」という。）の手前で、時速約25km/hの速力で右回頭を始めたところ、B船が遠心力でA船の航跡より左舷方に大きくふくらみ、平成22年8月14日09時45分ごろB船が本件消波ブロックに衝突した。</p> <p>B船に乗っていた3人が投げ出され、乗船者Aが頭部切創、乗船者Bが両足及び頭部擦り傷、乗船者Cが左ふくらはぎ切傷をそれぞれ負った。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 2</p> <p>海象：平穏、潮汐 下げ潮の中央期</p>	
その他の事項	<p>乗船者は、全員が救命胴衣を着用していた。</p> <p>B船は、3人が乗船できるように取っ手が付いていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、大貫漁港沖でB船をえい航して遊走中、本件消波ブロックの手前で右回頭をした際、B船が、A船の航跡より左方に出て本件消波ブロックに衝突したものと考えられる。</p> <p>船長は、B船の回頭状況を適切に把握していなかったため、本件消波ブロックに接近して右回頭を開始した可能性があると考えられる。</p>

原因	本事故は、A船が、大貫漁港沖でB船をえい航して遊走中、本件消波ブロックに接近して右回頭を開始したため、B船が、本件消波ブロックに衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。
----	--